

2022年6月30日

関西電力株式会社 御中

(仮称) 夕張ウィンドファーム事業 計画段階環境配慮書に関する意見書

〒104-0033 東京都中央区新川 1-16-10 ミトヨビル 2F

公益財団法人 日本自然保護協会

理事長 亀山 章

日本自然保護協会は、自然環境と生物多様性の保全の観点から、北海道夕張市および栗山町で計画されている(仮称)夕張ウィンドファーム事業(事業者:関西電力株式会社、最大総出力:84,000kW、基数:最大20基)の計画段階環境配慮書に関して意見を述べる。

本事業の事業実施想定区域の一部である栗山町は「栗山町景観計画」を策定している。同計画では、工作物は周辺の景観から突出しないように、機能上やむを得ない場合を除いて高さ13m以下とし、できる限り目立たない位置に配置することが求められている。また工作物の表面は周囲と調和する目立たない色彩とすることが求められている。本計画で建設予定の風力発電機は4200~6100kW級であり、高さは100mを超える可能性が高い。

栗山町は緩やかに連なる丘陵の森林を背景に、すそ野に美しい田園景観が広がっている。「栗山町景観計画」は、その美しい田園景観を後世に引き継いでいくために策定されたものであり、風力発電機建設が栗山町の田園景観に悪影響を及ぼしてはならない。このようなことから、風力発電機の設置にあたっては、「栗山町景観計画」の指針に最大限配慮して事業を実施すべきである。

以上